

NLE Yokohama		Taro 6 Plus 取り扱い説明書-設定ツール編	Technical Cataloge	
January 25, 2011			T 001 369 J	
CS SK	Ver. 00		Page	1 / 15

NLE

YOKOHAMA JAPAN

Nippon Lifts Engineering Inc.

エレベーター用非常時直接通話装置
Taro 6 Plus

取扱説明書-設定ツール編

改版履歴(1/1)

Version	日付	作者	項目
00	2011/01/25	SK	Taro6 Plus 取扱説明書-設定ツール編 作成

目 次

1. はじめに	5
2. 基本操作	
2.1 操作用のボタン	6
2.2 画面の構成	7
3. 事前作業	8
3.1 設定ツールの起動	8
3.2 ログイン	8
3.3 接続	8
3.4 ファームウェア情報	9
3.5 初期化	9
3.6 日付時刻	9
3.7 識別子	10
3.8 電話回線全般	10
3.9 音声通話設定全般	10
3.10 一般電話番号	11
3.11 音声発信	11
3.12 eVoice 音声着信	11
3.13 eVoice 通話時間	12
4. パラメータ	12
4.1 パラメータセーブ手順	12
4.2 パラメータロード手順	14
5. 困ったときは……(お問い合わせする前の事前確認)	15

安全に関する表示について

- ・本製品を安全に正しくお使いいただくために、注意事項を次のような表示と図記号で表しています。ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。必ず守ってください。
- ・また、別資料「T001 187J NLE製品 取扱い説明書-安全のしおり」も併せてお読み下さい。
- ・表示と意味は次のとおりです。



危険

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

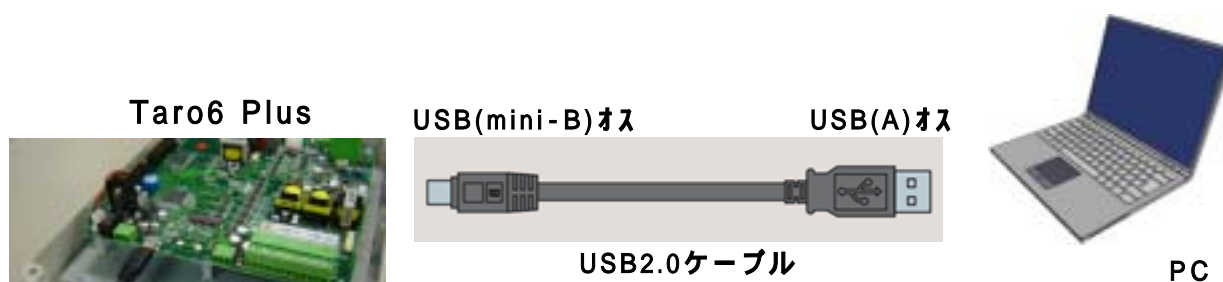
1. はじめに

本説明書は Taro6 Plus 専用部分の設定方法について述べたものです。
一般的な使用方法については、下記の資料を参照願います。

T 0 0 0 7 0 1 J 遠隔端末装置 (Remote Site Manager) 設定ツール説明書 - 基本編

設定ツールを接続した構成図を下記に示します。設定用のパソコン (PC) 及び設定ケーブルをご用意下さい。

パソコンの仕様は下記OSがインストールされたものをお奨めします。同じOSがインストールされたパソコンで設定されることをお奨め致します。



CN2コネクタへ接続

設定ケーブル

USB2.0ケーブル(A:ミニBタイプ)
ELECOM社製
USB-FSM518 相当

設定ケーブルはお客様にて量販電気店にてご購入下さい。

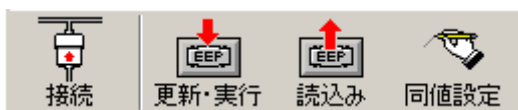
【動作】

- 1) Windows 2000
- 2) Windows XP Home Edition
- 3) Windows XP Professional
- 4) Windows Vista
- 5) NT4.0 (SP6a)

2. 基本操作

2.1 操作作用のボタン

未接続時のボタン



接続中時のボタン



a. 通信ポート接続/切断



通信 (COMM)ポートを接続し端末装置とPC間の通信を開始します。
正常終了すると画面左下の接続状態が”切断”から”接続”に変わります。



通信 (COMM)ポートを切断し端末装置とPC間の通信を終了します。
正常終了すると画面左下の接続状態が”接続”から”切断”に変わります。

b. 値の設定



項目の内容を変更(入力)後、本ボタンをクリックすることで端末装置内の内容を更新します。
項目の内容を変更(入力)後、本ボタンをクリックしないで別の項目を選択したり読み込みを行うと、変更(入力)した値は破棄されます。

c. 値の読み



現在選択中の項目の端末装置内の内容を読み込んで表示します。

d. 同じ値の設定



設定項目内で、項目数が複数ある場合、このボタンをクリックすると1番目に入力されている値が2番目以降の欄に複写されます。
「更新・実行」ボタンをクリックしないかぎり端末装置に反映されません。

e. 値のセーブ



設定したすべての値をファイルへセーブします。

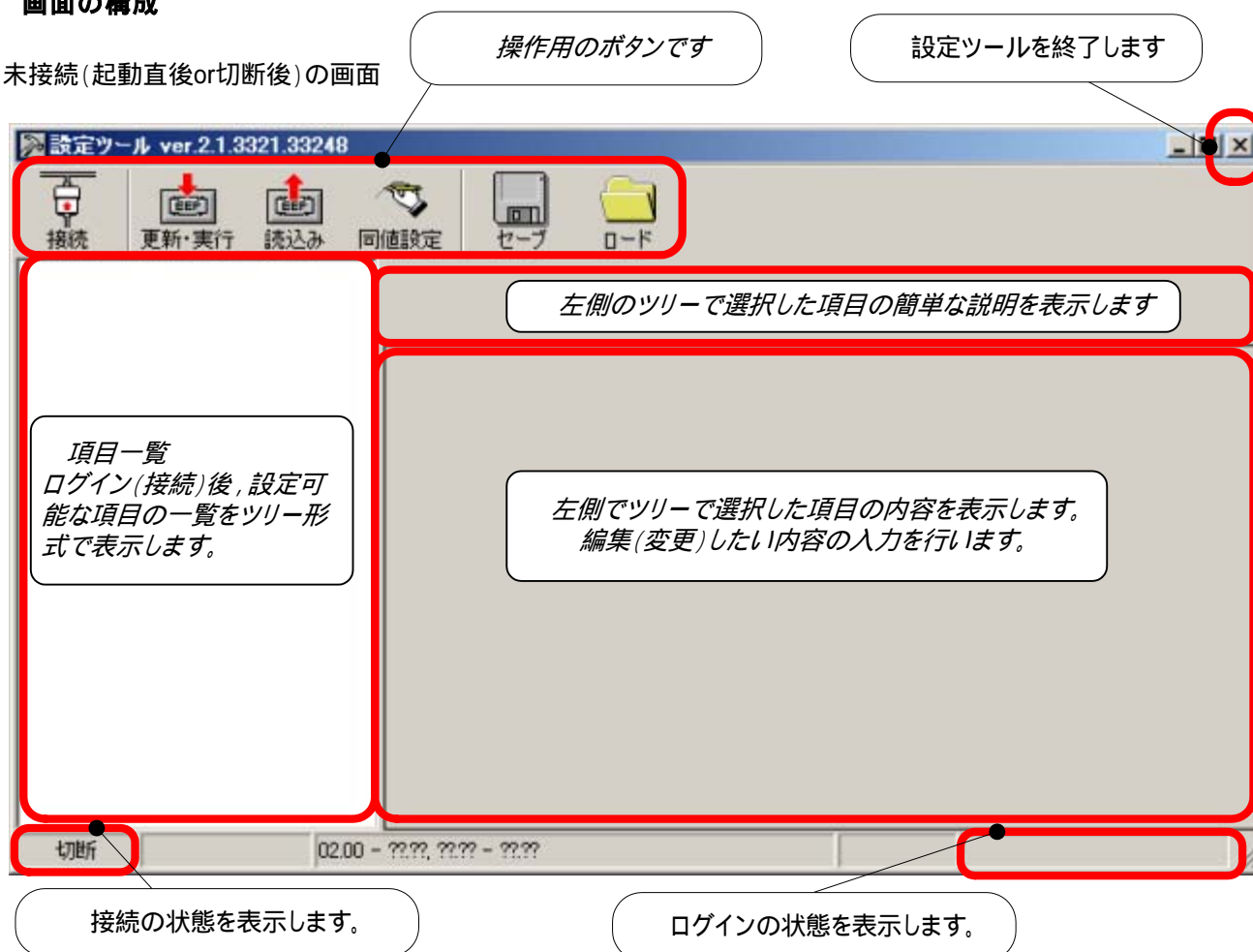
f. 値のロード



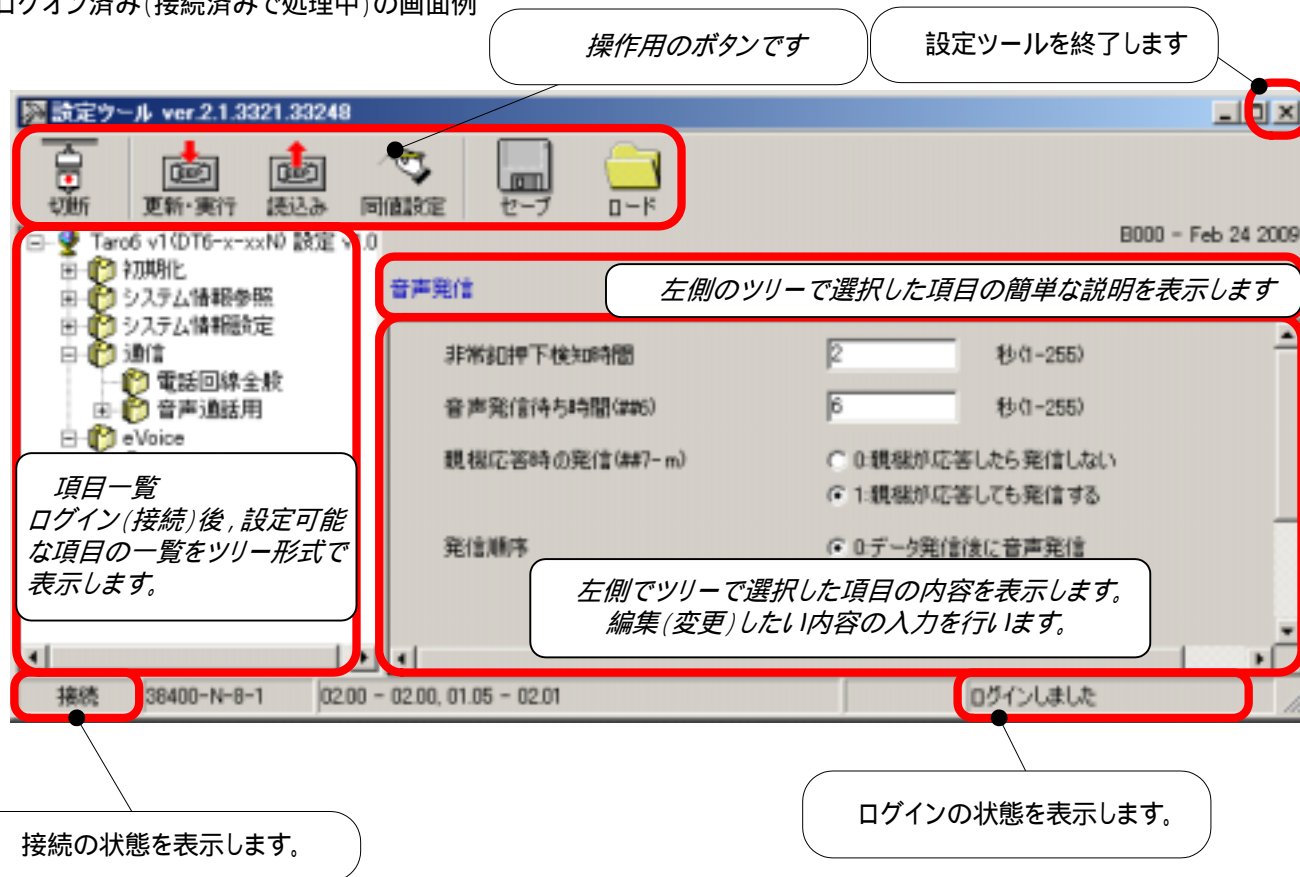
ファイルからパラメータを読み込み・登録を行います。

2.2 画面の構成

- ・ 未接続 (起動直後 or 切断後) の画面



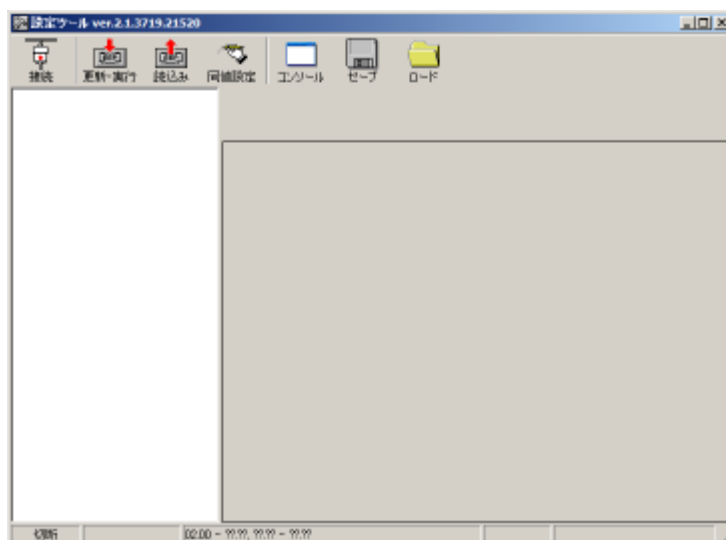
- ・ ログオン済み (接続済みで処理中) の画面例



3. 事前作業

3.1 設定ツールの起動

'スタート', 'プログラム', 'Super Sakura', '設定ツール'をクリックしてユーティリティをスタートします。
'接続'釦を押します。

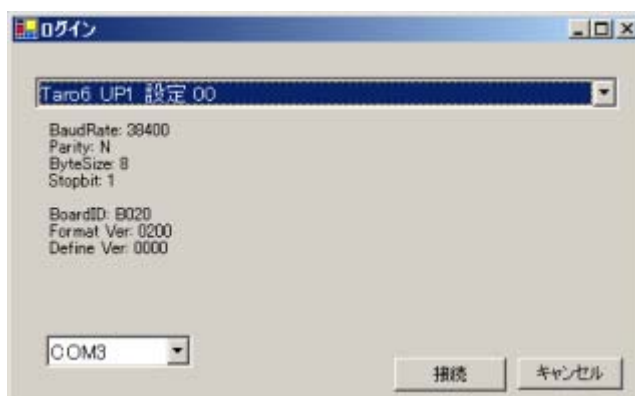


3.2 ログイン

設定する機器を[Taro6 UP1 設定 00]を選択して下さい。

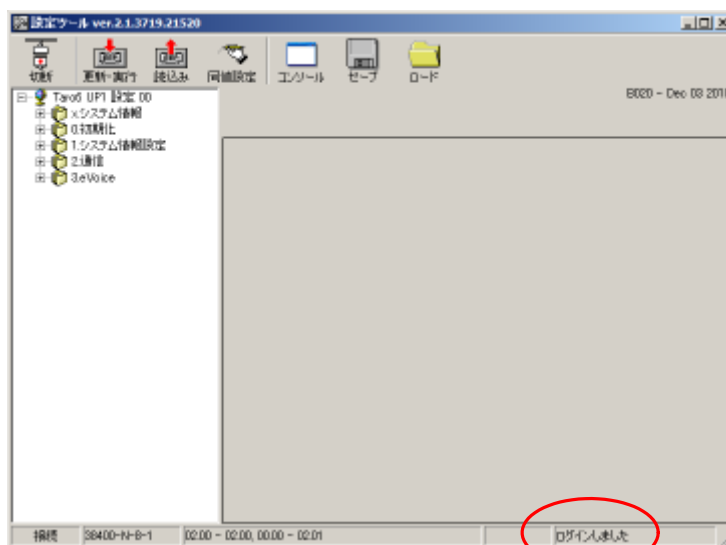
選択後に機器にACアダプターを接続して電源供給を行って下さい。しばらくするとPCと機器が正しく通信が出来、COM番号が自動的に表示されます。表示されたら'接続'釦を押します。

COM番号が表示されない場合は、通信ポートの設定を確認下さい。



3.3 接続

Taro6 Plusと設定ツールが正しく接続されると右記の様に"ログインしました"と表示され設定項目が白抜き字体 黒字体となり選択できる様になります。



注意 ログイン出来ない場合は、

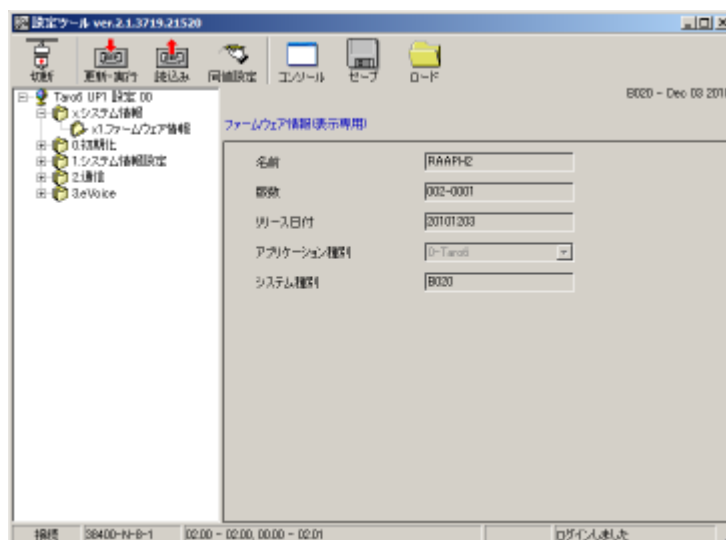
通信ポートの設定を確認

機器のACアダプターを抜き差しして電源入り切りを再度行って下さい。

3.4 ファームウェア情報

選択するとアプリケーションの種別やシステムタイプ番号を表示します。

(変更不可)



3.5 初期化

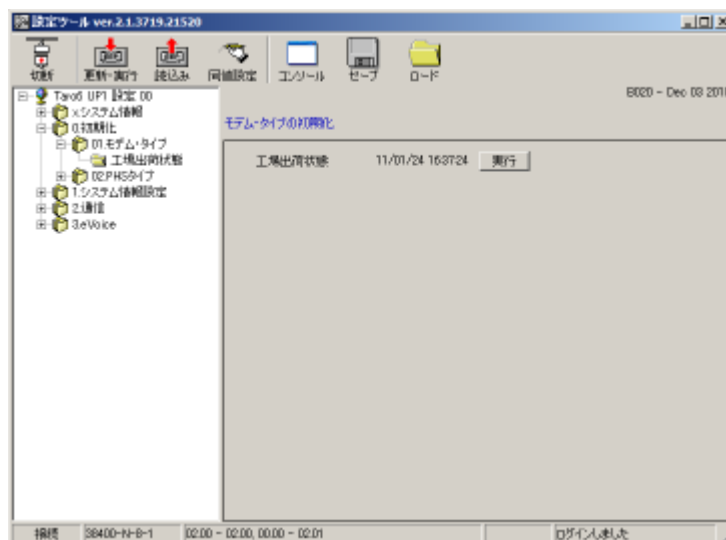
初期化は、使用する機器の種類別にて「モデムタイプ」か「PHSタイプ」を選択して実行して下さい。

「実行」鈕を選択すると工場出荷時のパラメータに変更されます。



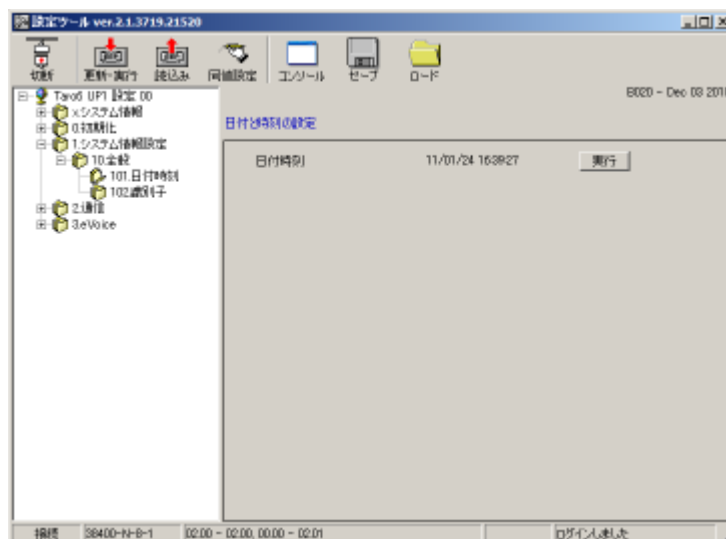
注意

間違った選択を行い機器を動かすと誤動作する事がありますのでご注意ください。



3.6 日付時刻

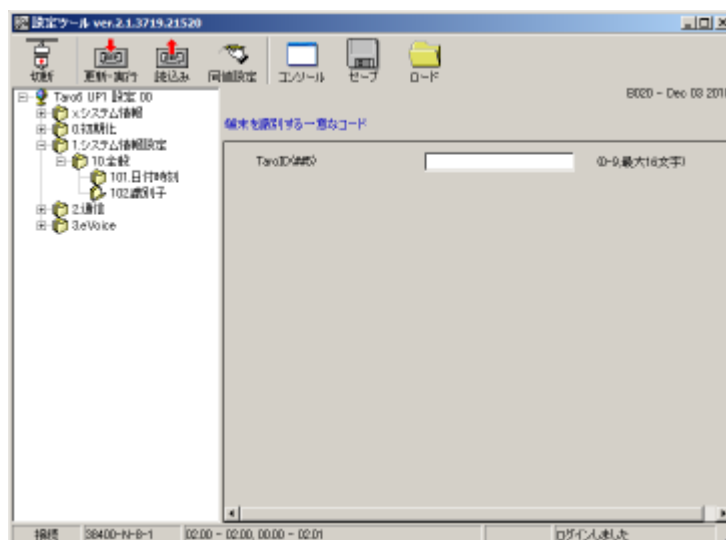
Taro6 Plusの時刻が表示されます。実行を押すとPCの時刻がTaro6 Plusへ修正します。



3.7 識別子

Taroid(##5) (0-9, 最大16文字)

Taroidは利用者が任意に設定できる、本装置の識別番号です。非常通話発報時に自動でセンターへ通知します。利用者はこの識別番号を特定する為に使用することができます。



3.8 電話回線全般

ダイヤル種別(モデム版のみ) ##7-n

PB トーン式(工場設定)

10P 10パルス

20P 20パルス

応答方式 ##7-l

0: 音声モードで応答

1: 自動判別応答(工場設定)

2: データモードで応答

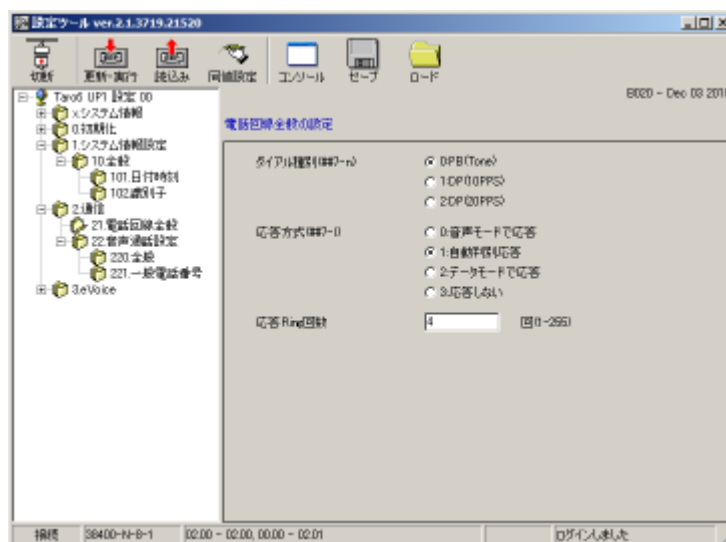
3: 応答しない

応答Ring

外部電話からの呼び出し回数設定

設定値になると着信します。

(工場設定: 4回)



3.9 音声通話設定全般

応答待ち時間 かが内非常ボタンを押し連絡先電話番号を発報してから呼び出すが、コールセンターが応答するまでの待ち時間を秒数で設定する。

(工場設定: 25秒)

再試行回数(工場設定: 3サイクル)

##1 ##2 ##1(2サイクル目) ##2(2サイクル目) ##1(3サイクル目) ##2(3サイクル目)

発報動作終了



3.10 一般電話番号

直接非常通話機能の発報先電話番号(最大5箇所)を登録します。

(工場設定:空白)

(0-9, A-Z, 最大16文字)

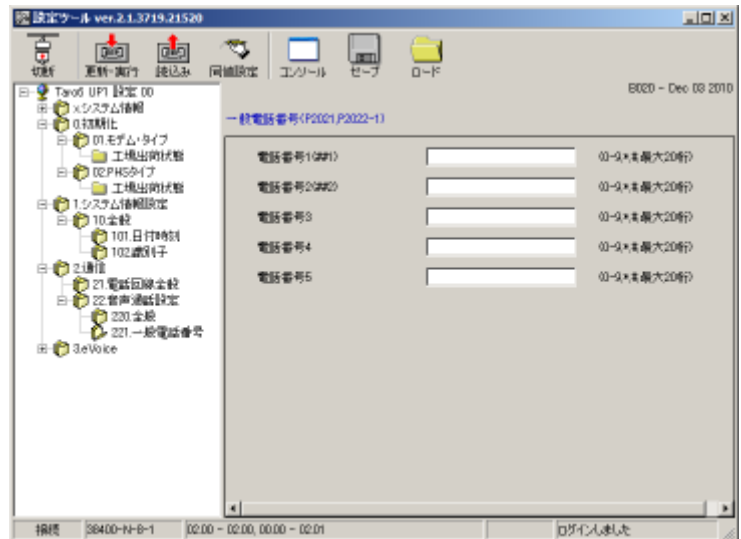
電話番号1(##1) - 発報先1番目

電話番号2(##2) - 発報先2番目

電話番号3(**303) - 発報先3番目

電話番号4(**304) - 発報先4番目

電話番号5(**305) - 発報先5番目



3.11 音声発信

非常ボタン押下検知時間 かが内非常ボタンの押下検知時間を設定。

(工場設定2秒)

音声発報待ち時間(##6) 非常音声発報待ち時間を設定。(工場設定6秒)

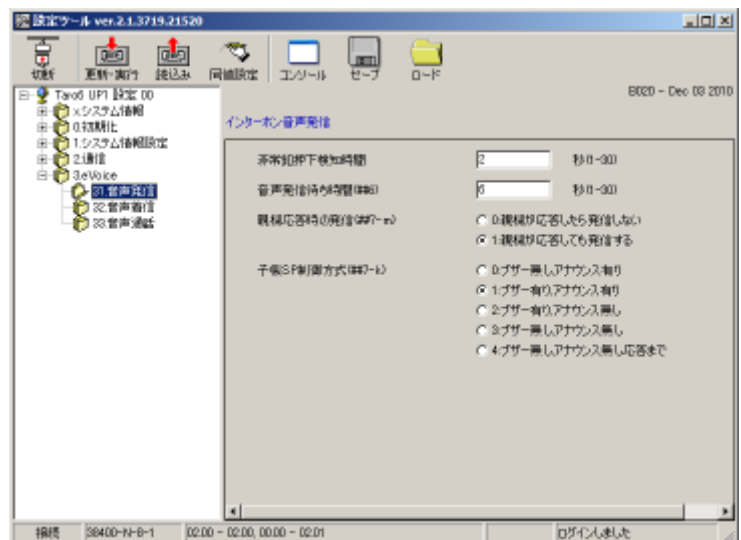
親機応答時の発信(##7-m)

##6で指定した時間内に親機が応答したら非常通話を発信しない。(工場設定:応答しても発信する)

子機SP制御方式(##7-k)

非常音声アナウンス時のブザーとアナウンス制御の指定

(工場設定1:ブザー有り、アナウンス有り)



3.12 eVoice音声着信

コールセンターからの呼び出しに着信した時に0:自動の場合、1号機に接続。

1:手動の場合、#1~#4をコールセンターから操作し、指定した号機に接続。

2:半自動の場合、下記の「子機接続遅延時間」が経過後1号機に接続される。

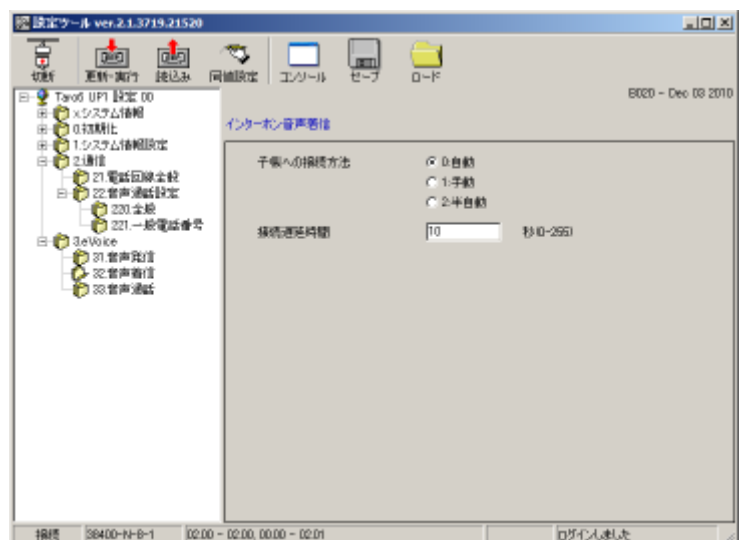
子機接続遅延時間中は号機を選局操作が可能。

1) 子機への接続方法

0:自動(工場設定)

1:手動

2:半自動



3.13 eVoice 音声発信 音声通話時間

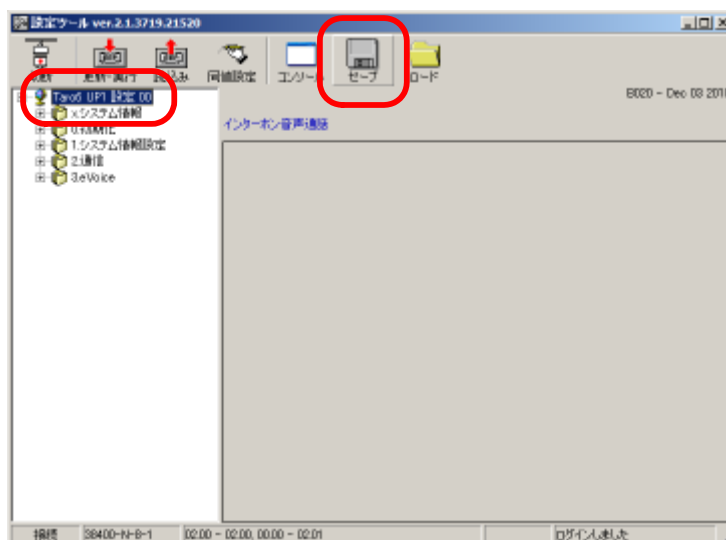
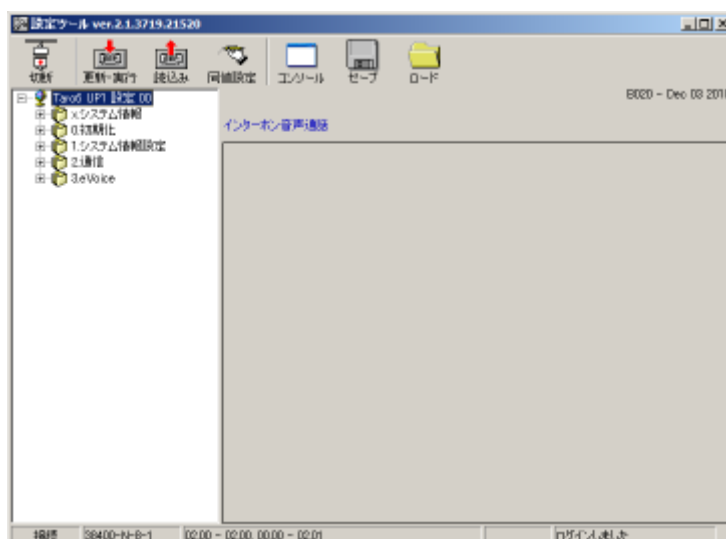
- 1) 音声通話時間 (工場設定: 4分)
- 2) 切断予告通知方式 音声通話時間が終了する時の警告アナウンス
(工場設定: 10秒)
- 3) 切断予告通知方式 音声通知もしくは
トーン信号音 (工場設定 1: 音声通知)
- 4) Taro ID通知方式 ##5で設定した識別信号をトーン信号または音声アナウンスで通知します。(工場設定 1: 音声通知)
- 5) 現場名通知時期 0: 手動
 - 1: 自動 (発信時) 発報時自動再生
 - 2: 自動 (着信時) 着信時自動再生
 - 3: 自動 (双方向) 発信・着信時に動作

以上でパラメータの設定項目は全て終了です。次に設定したパラメータをPC (パソコン) にファイルセーブする手順を下記に示します。

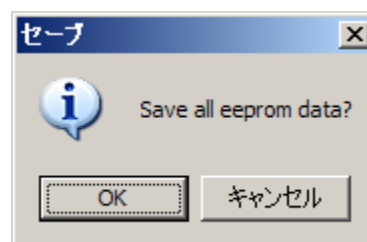
4.1 パラメータセーブ手順

- 1) 各種パラメータを設定した値をPC (パソコンへ) ファイルにセーブし保存する事が出来ます。

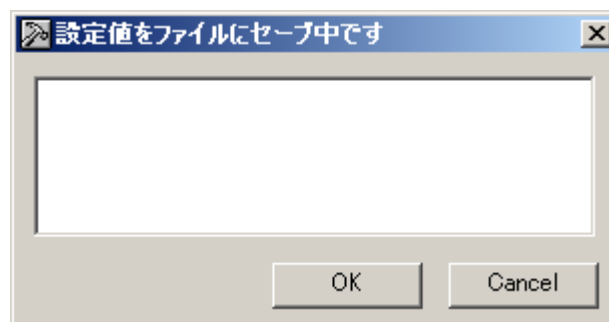
- 2) 項目一覧で 'Taro6 UP1設定00' を選択した後にセーブボタンを押す。



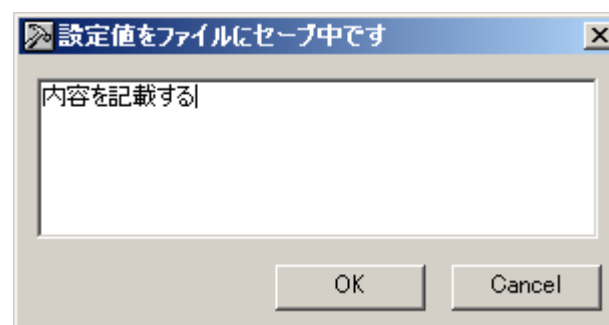
- 3) 'Save all eeprom data?'と聞いてきます。OKボタンを押します。



- 4) 右記にメモ書きする事があれば記載します。空白でも良いです。

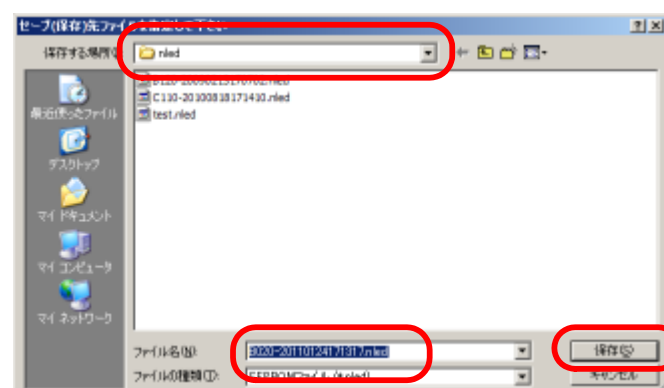


- 5) OKボタンを押します。



- 6) セーブファイル保存先を確認して保存ボタンを押して下さい。この時にファイル名を変更したい場合は、変更下さい。

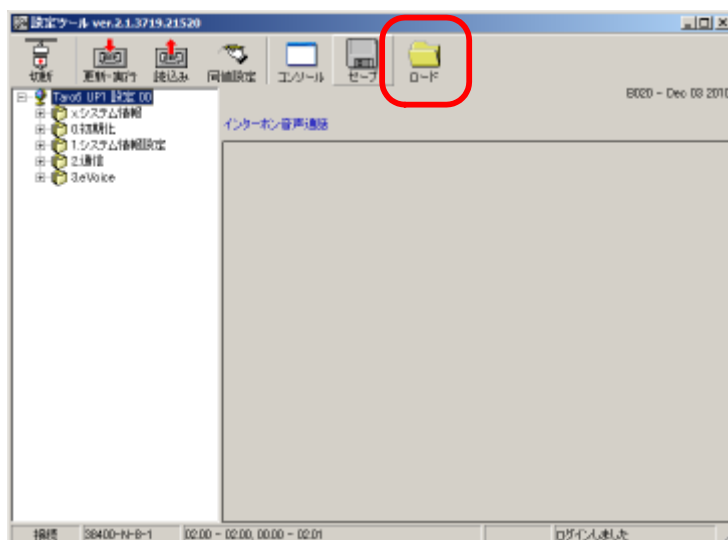
これでセーブ操作は完了です。
次にセーブしたファイルをロードする方法を記載します。



4.2 パラメータロード手順

1) ロードボタンを押す。

PCと端末機器のログインを行っていないとロードボタンを押しても先に進みませんのでご注意ください。

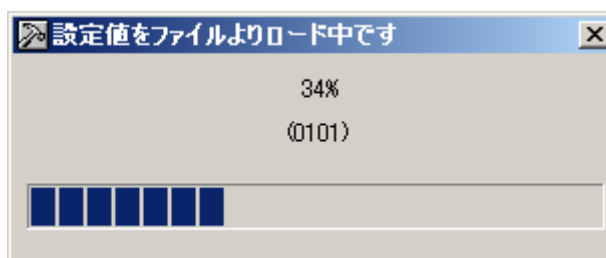


2) ロードするファイルを選択して開くボタンを押して下さい。



3) 右記画面が表示され自動的に機器にパラメータセーブ登録を行います。 (通信時間: 約 8 ~ 10 分)

以上でロード作業の手順が完了です。
確認のため各種パラメータが正しい値か？
ご確認下さい。



5. 困ったときは……(お問い合わせする前の事前確認)

	不具合内容	チェック内容	備 考
1	設定ケーブルがない。	量販電気店やパソコンショップなどでご購入ください。	USB2.0ケーブル (A:ミニBタイプ) ELECOM社製 USB-FSM518 相当
2	Sakura5+で使っていた設定ケーブルは、使用できるか？	申し訳ありません、Taro6よりUSB接続となっています。新規にご用意ください。	
3	インストールができない。	CD-ROMが読み込めるかをご確認ください。CD裏面にキズがありませんか？	
4	USB(mini-B)オスは、どこに挿すのか？	ROCSAA-2基板 CN2コネクターへ挿してください。	
5	設定項目が白抜き字になっている為選択できない。	ログインが出来ていません。再度ログインからはじめてください。	
6	ログインで機器の選択をする際に該当の機器名がない。	機器(Taro6)などの定義ファイルがインストールされていません。定義ファイルを設定ください。	
7	設定した値が登録されない。	更新・実行ボタンを押して登録してください。	
8	接続してるが、ログインできない。(1)	ACアダプターを挿して30秒以内にログインしてください。もし、経過した場合は、電源入り切りください。	
9	接続してるが、ログインできない。(2)	ACアダプターを抜いて電源の入り切りをしてください。また、COMポートの設定をご確認ください。	
10	接続してるが、再ログインできない。(3)	ログインが出来ていて一度切断を選択した場合は、ACアダプターの入り切りしてください。	
11	ロードボタンを押しても何も表示されない。	ロードボタンは、ログイン後に機能します。	